

■ Society 5.0 をテーマに未来社会を議論 ■

ASEF 主催「第 6 回 ヤング・リーダーズ・サミット」

～ 世界 50 か国から選抜された若者 89 人が、関大に集結 ～

関西大学は ASEF（アジア・ヨーロッパ財団）と共催し、世界 50 か国 89 人の学生が「Society 5.0」をテーマに議論する国際プログラムを 9 月 30 日（火）～10 月 4 日（土）に開催します。事前のオンライン学習と対面を組み合わせ、万博や防災施設での実践を通じて未来社会の課題解決に挑みます。

本件の ポイント

- ・ 150 倍の選抜を勝ち抜いた世界 50 か国 89 人の学生が参加
- ・ ブレンディッド型教育により、オンラインでの事前学習と対面学習での実践を融合した国際教育
- ・ 万博会場での発表や神戸での防災学習を通じ社会課題に挑戦

■ 世界 50 か国から集う未来のリーダー

本サミットは、選抜倍率 150 倍を突破した世界 50 か国からの精鋭 89 人が参加する国際教育プログラムです。第 6 回を迎える今回は関西大学が開催校となり、テーマは「Society 5.0」。参加者たちは、自らの成長、チームでの協働、そして社会貢献の在り方を探究し、グローバルリーダー像について議論を深めます。

■ BM 型教育で学びを深化

本プログラムの特徴は、7 月からオンラインで進めてきた COIL 型セッションと、9 月末からの対面実践を組み合わせた BM（ブレンディッド教育）にあります。すでに参加者同士の交流を深めた状態で議論を行うことで教育効果を最大化。国内での座学を起点に、万博会場での発表、神戸でのスタディビジット、梅田キャンパスでの成果発表へと段階的に学びを積み重ねます。なかでも 10 月 3 日（金）の JICA 関西センターと阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター訪問は、国際協力や防災を体験的に学び、世界の仲間と共に未来社会への提案を行う場として大きな意義を持ちます。（プログラム詳細：<https://x.gd/wlSHy>）



＜前回サミットの様子＞

■ 関西大学から世界へ広がる学び

本プログラムは、文部科学省「大学の世界展開力強化事業（JIGE）」の枠組みのもと、関西大学をはじめとする国内大学が連携して実施されています。本学の学生も特別枠で参加し、世界の仲間と共に未来社会の課題解決に挑みます。ここで得られた成果や提案は、参加者自身の成長にとどまらず、地域や国際社会に還元されることが期待されています。

9/30（火）、10/1（水）	関西大学 千里山キャンパス
10/2（木）	大阪・関西万博「TEAM EXPO パビリオン」にて発表
10/3（金）	午前：神戸 JICA 関西センター・阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 午後：関西大学 千里山キャンパス
10/4（土）	関西大学 梅田キャンパス

▼ASEF について ASEF（Asia-Europe Foundation／アジア・ヨーロッパ財団）は、アジア欧州会合（ASEM）の枠組みで設立された唯一の常設機関である。アジアと欧州の国々をつなぎ、教育、文化、持続可能な開発などの分野で交流・協力を推進している。

▼JIGE について Japan hub for Innovative Global Education（JIGE）は、文部科学省「大学の世界展開力強化事業」に採択された教育連携拠点であり、関西大学・東北大学・千葉大学が連携して国際的に活躍できる人材育成を推進している。

▼BM 教育について Blended Mobility（BM）教育は、オンラインでの事前交流（COIL 型授業）と短期集中の対面プログラムを融合した教育手法。事前に関係性を築いた上で対面を行うことで、学びの深まりと教育効果の最大化を図る。

配信元

関西大学 総合企画室 広報課 担当：小林、伊地知、明原

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

Tel. 06-6368-0007 Fax. 06-6368-1266 www.kansai-u.ac.jp